

# 訪日外国人消費動向調査(平成25年1-3月期)

## 【トピックス】

### ① 今期増えた客層と旅行支出の特徴

～韓国では女性客が回復、タイでは訪日リピーターが増加

### ② LCC利用観光客の詳細分析

～女性20代が多く、訪問地は就航地周辺に集中

平成25年5月31日

観光庁観光経済担当参事官室

---

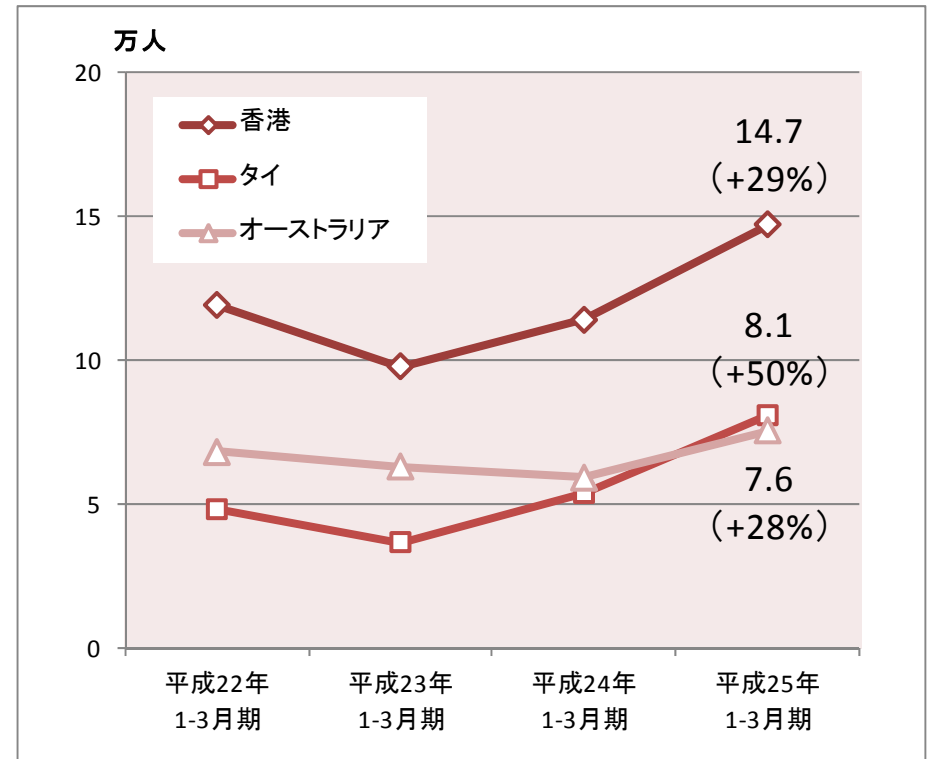
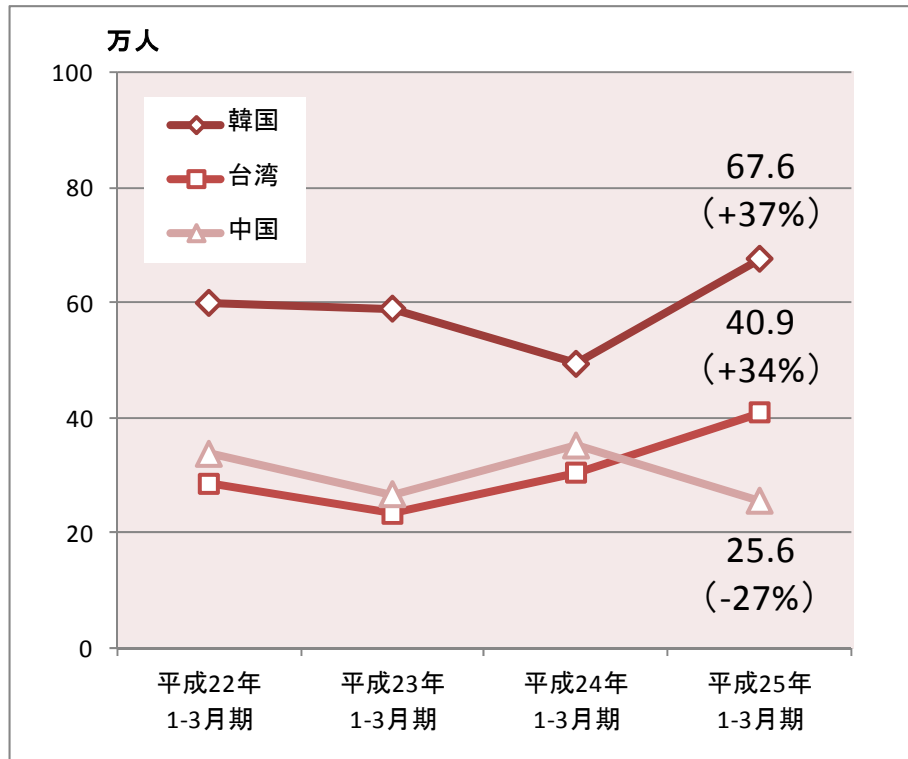
## ①今期増えた客層と旅行支出の特徴

～韓国では女性客が回復、タイでは訪日リピーターが増加

# 【訪日外客数】韓国4割増、タイ5割増と好調、中国は3割減

- 今期(平成25年1-3月期)の訪日外客数を国籍・地域別にみると、韓国で前年同期比37%増、台湾で同34%増、タイで同50%増とそれぞれ高い伸びを示している。香港やオーストラリアでも同30%近くの増加率となっている。
- 一方、中国国籍の訪日外客数は、前年同期に比べて27%減少した。

図表1. 1-3月期における訪日外客数<sup>注1</sup>の経年推移【国籍・地域別<sup>注2</sup>】（データ出所:JNTO）



注1) 平成25年2月、3月のJNTO訪日外客数は推計値を使用している。

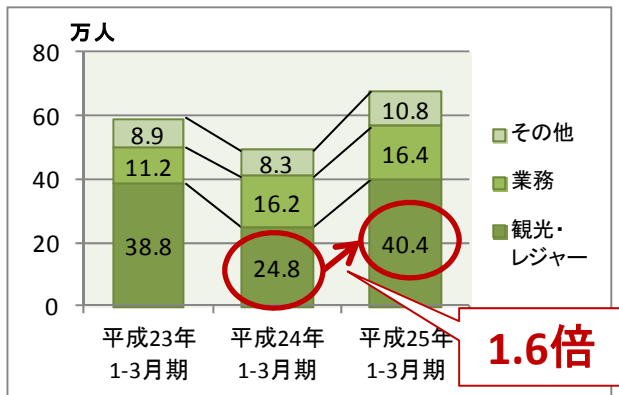
注2) 平成25年1-3月期の訪日外客数が3万人以上の国籍・地域のうち、前年同期比±20%以上の変動があった国籍・地域のみを掲載している。

# 【来訪目的】韓国とタイの観光客が前年同期比で大きく増加

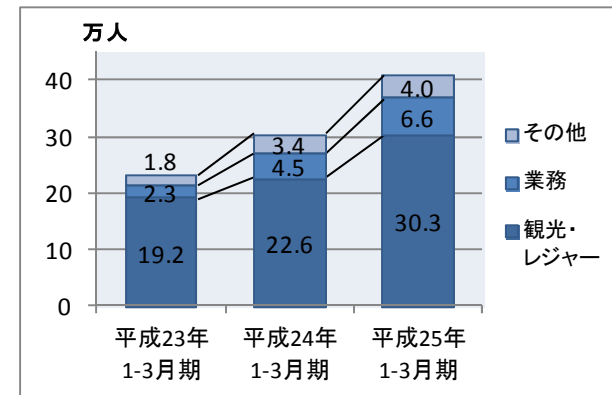
- 来訪目的別の訪日外客数を推計すると、中国を除き、前年同期に比べて観光・レジャー目的の訪日客（以下、観光客）が増えていることがわかる。特に、韓国とタイでは前年同期に比べおよそ1.6倍と大きく増加している。
- そこで、今期大きく増加した韓国、タイの観光客に焦点を当て、客層や旅行内容、買物支出の詳細分析を行う。

図表2. 平成23～25年1-3月期における来訪目的別訪日外客数<sup>注1</sup>の経年推移【国籍・地域別<sup>注2</sup>】

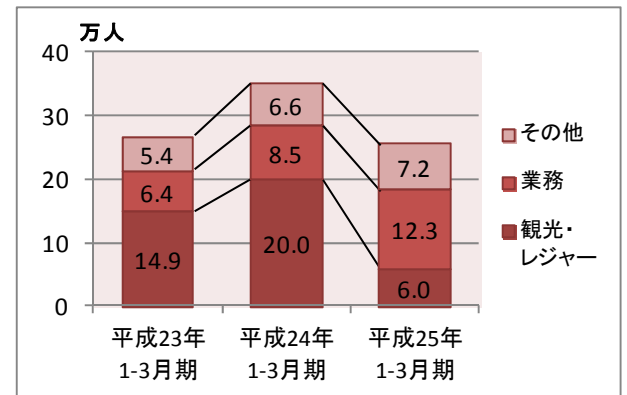
## a. 韓国



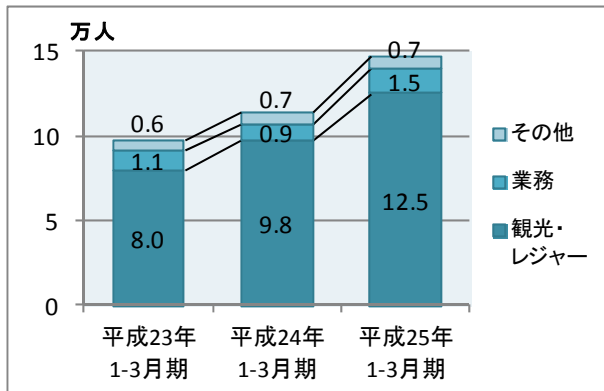
## b. 台湾



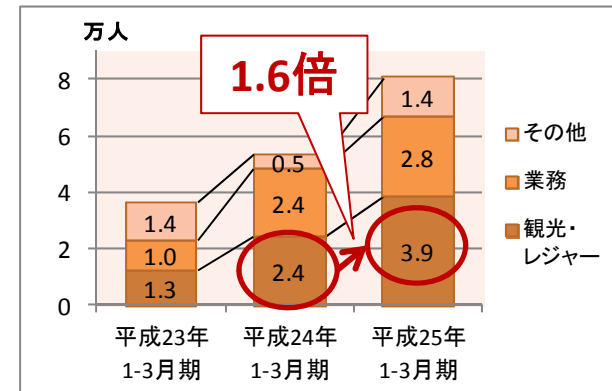
## c. 中国



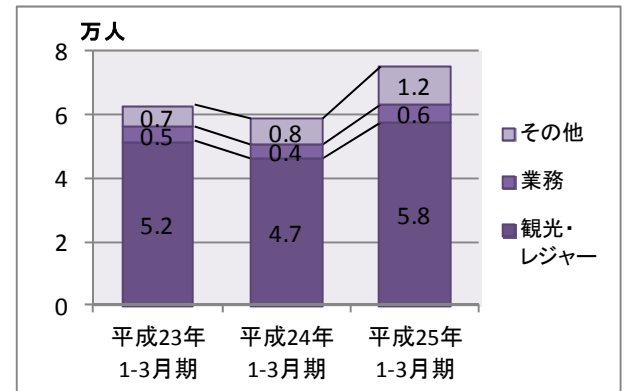
## d. 香港



## e. タイ



## f. オーストラリア



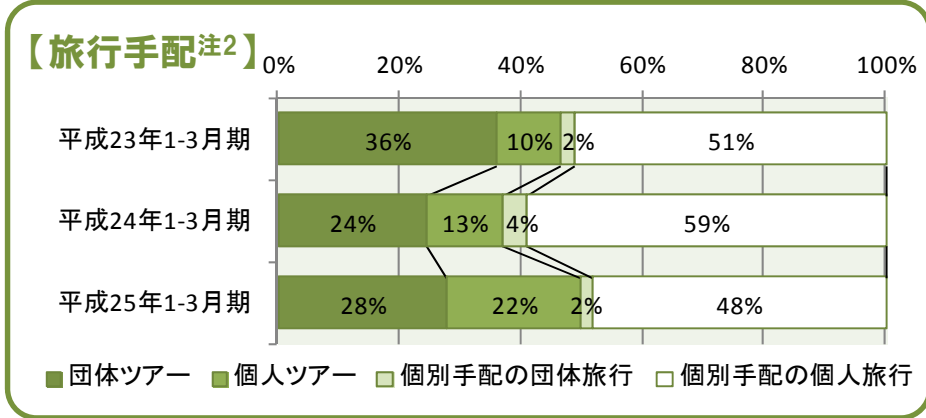
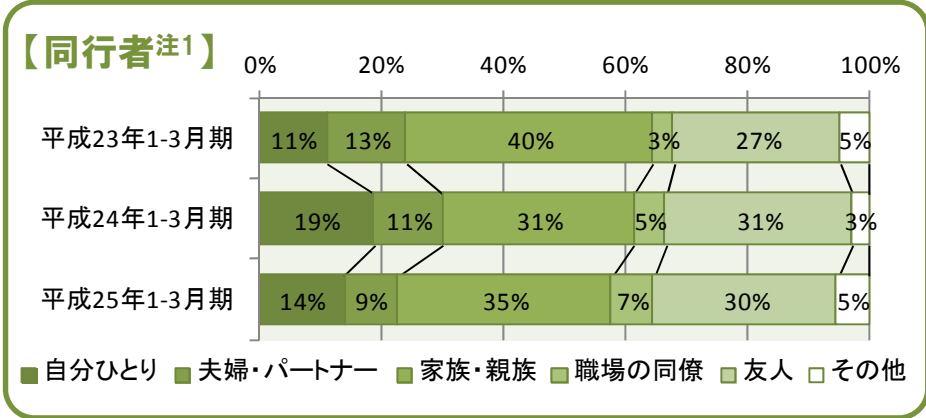
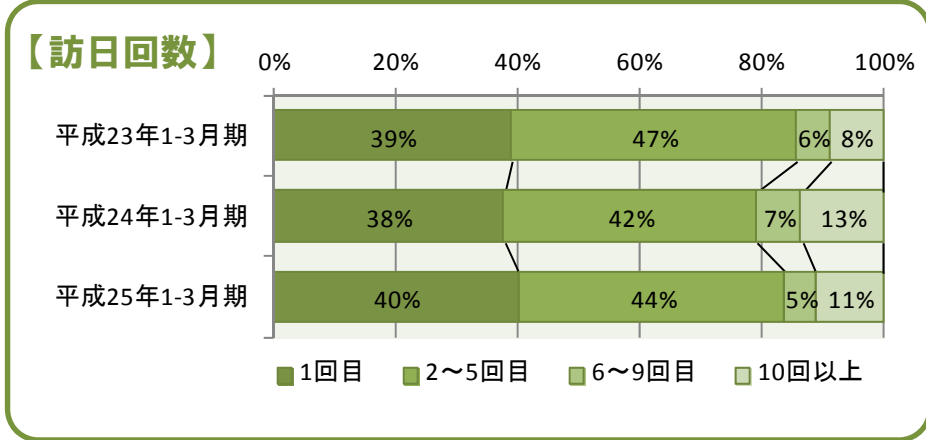
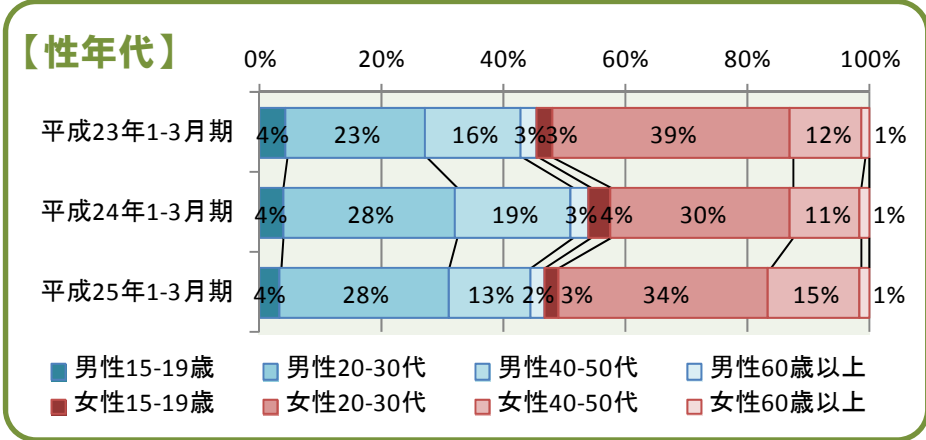
注1) 来訪目的別訪日外客数は、「JNTO訪日外客数」に本調査の来訪目的別構成比を乗じて推計したもの。平成25年2月、3月のJNTO訪日外客数は推計値を使用している。

注2) 平成25年1-3月期の訪日外客数が3万人以上の国籍・地域のうち、前年同期比±20%以上の変動があった国籍・地域のみを掲載している。

# 【韓国】の観光客】女性客、個人ツアー客の割合が増加

- 今期(平成25年1-3月期)における韓国の訪日観光客の客層をみると、前年同期(平成24年1-3月期)に比べて「女性客」や「パッケージツアーを利用した個人旅行(個人ツアー)」の割合が増加している。
- 一方、「自分ひとり」での訪日観光客や、「個別手配の個人旅行」の割合は前年同期に比べて減少している。

図表3. 訪日観光客の客層の変化【韓国】(平成23~25年1-3月期)

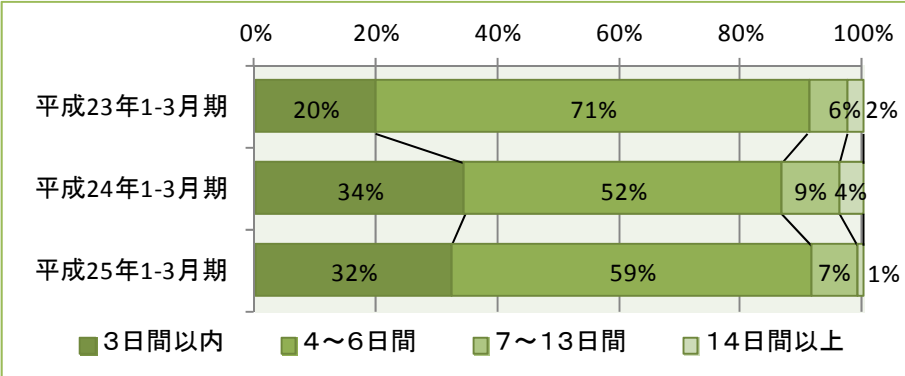


注1)「同行者」の設問は複数回答。上記図表では「同行者」を2つ以上選択した回答を「その他」として集計している。  
 注2)「旅行手配」の凡例の内、「団体ツアー」はパッケージツアーを利用した団体旅行、「個人ツアー」はパッケージツアーを利用した個人旅行をさす。

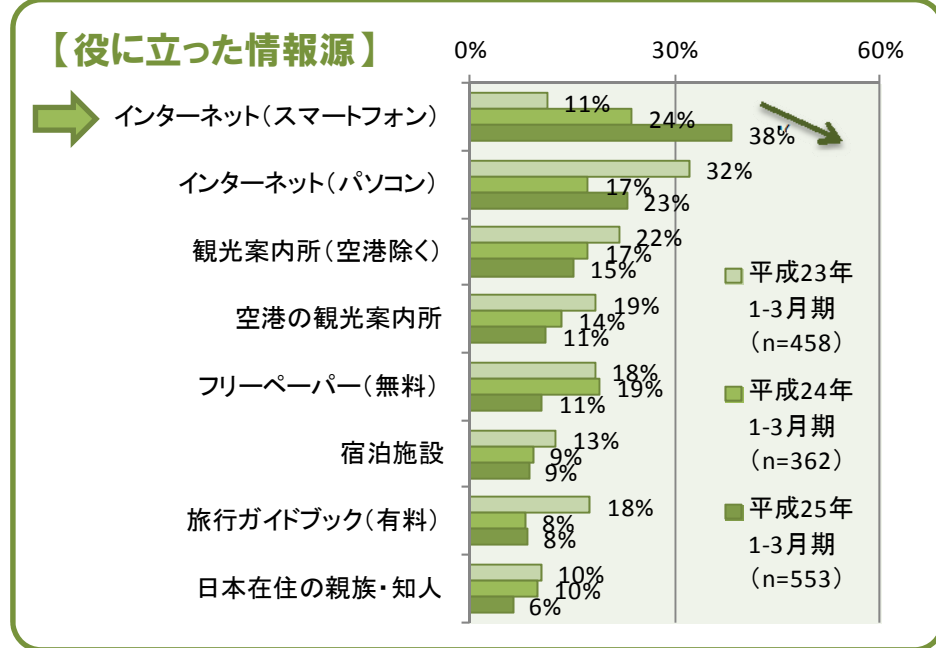
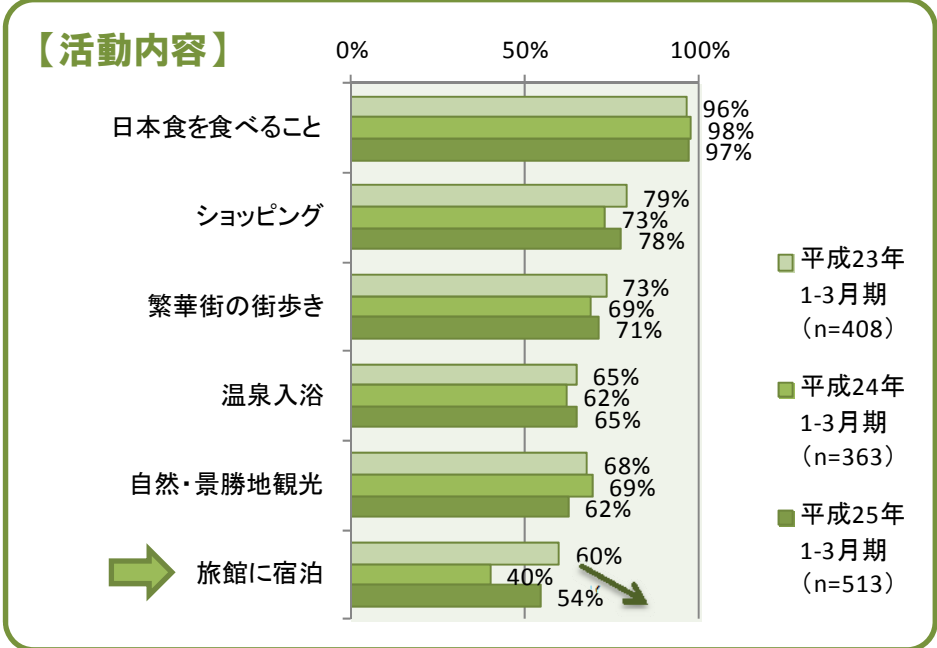
# 【韓国】の観光客】3日間以内が依然3割、スマホ活用増加

- 前年同期(平成24年1-3月期)に滞在日数「3日間以内」の割合が増加したが、今期(平成25年1-3月期)も引き続き同割合がおよそ3割を占めている。
- 旅行中の活動内容では「旅館に宿泊」の割合が前年同期に比べ増えたが、2年前の同期に比べるとその割合は低い。
- 日本滞在中に役に立った情報源では「インターネット(スマートフォン)」の割合が年々増加している。

図表4. 訪日観光客の滞在日数【韓国】



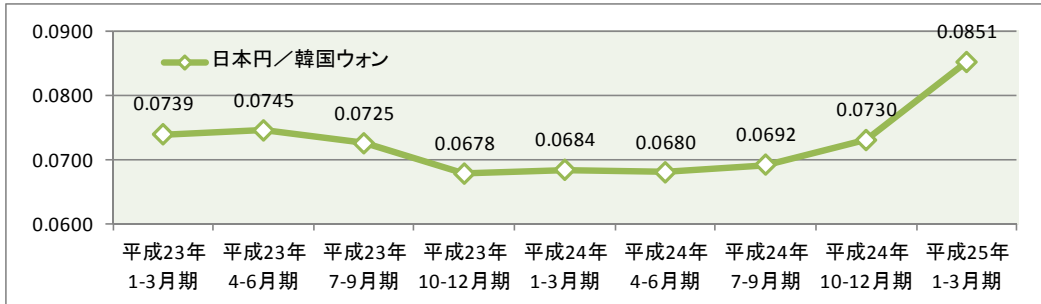
図表5. 訪日観光客の日本滞在中の活動内容と役に立った情報源【韓国】(平成23~25年1-3月期)



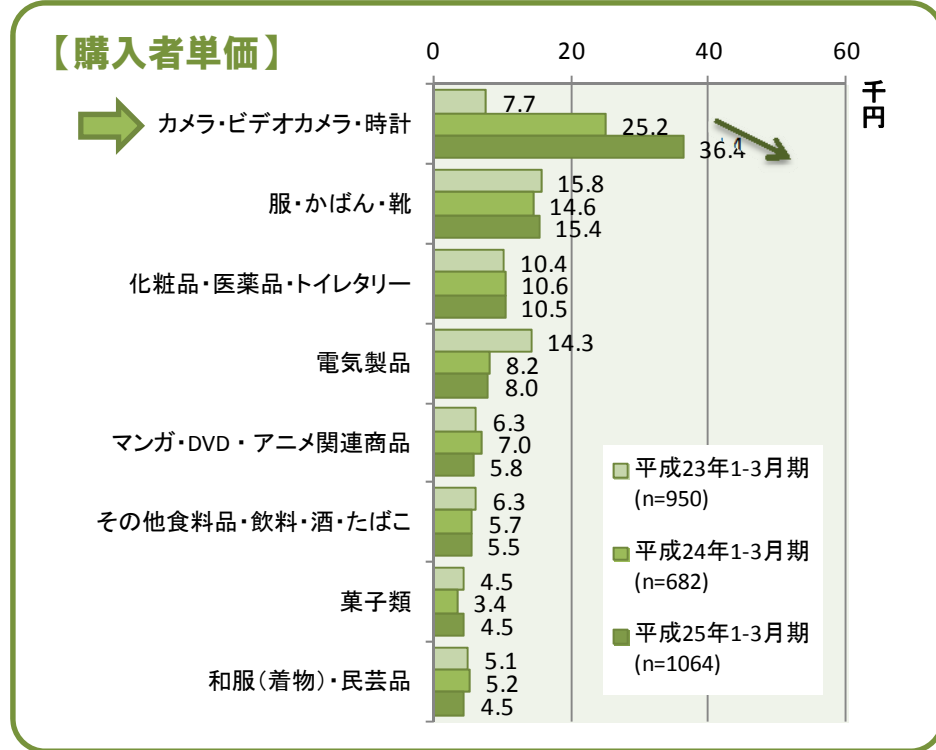
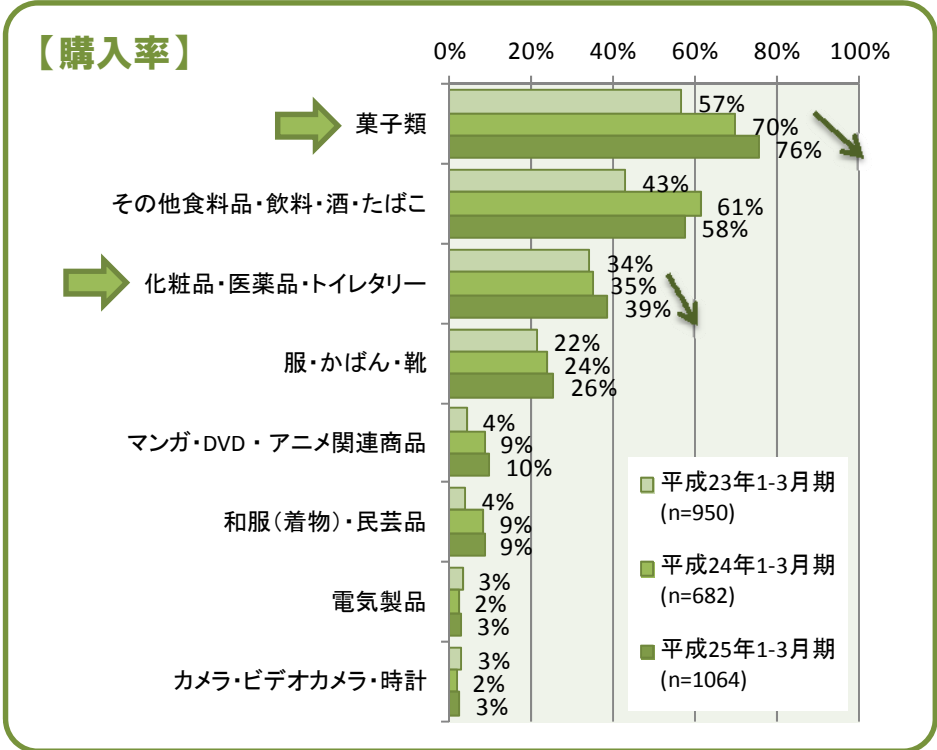
# 【韓国】の観光客】菓子類等の購入率増、カメラ等の単価増

- 今期(平成25年1-2月期)は、前期(平成24年10-12月期)に比べ大幅な円安となった。
- 日本滞在中の買物支出をみると、今期は「菓子類」「化粧品・医薬品・トイレタリー」の購入率が前年同期に比べて増加した。購入者単価では、「カメラ・ビデオカメラ・時計」が前年同期に比べ増加している。

図表6. 為替レート注の推移(日本円/韓国ウォン)



図表7. 訪日観光客の日本滞在中の買物支出【韓国】(平成23~25年1-3月期)



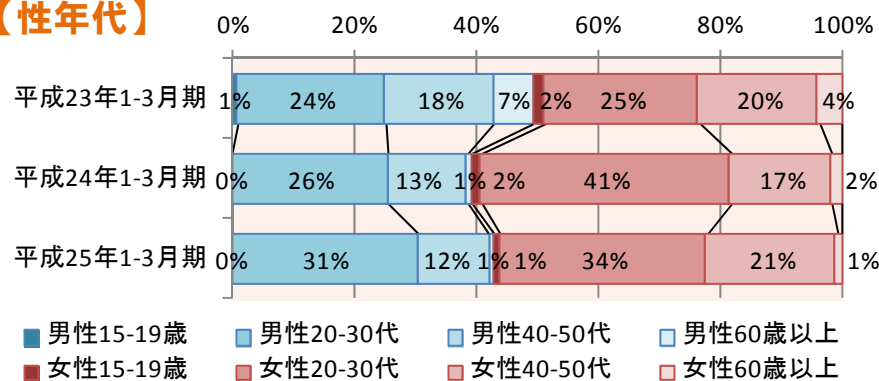
注) 為替レートはIMF(国際通貨基金)公表の日次データによる調査期間中平均値を用いている。

# 【タイの観光客】訪日リピーター、個別手配客の割合が増加

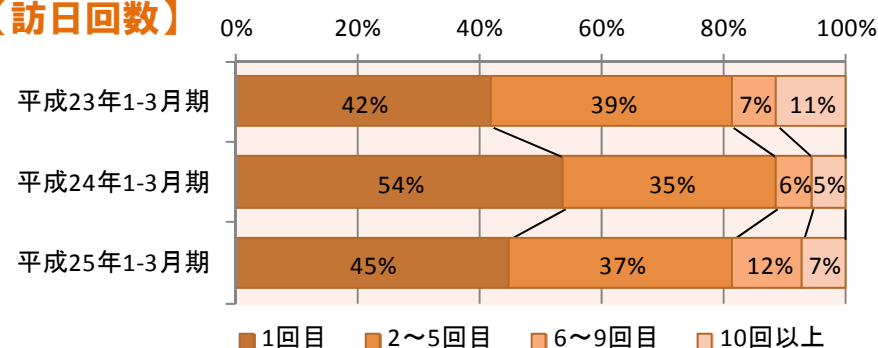
- 今期(平成25年1-3月期)におけるタイの訪日観光客の客層をみると、前年同期(平成24年1-3月期)に比べて訪日リピーター(2回目以上)や「職場の同僚」との観光旅行、「個別手配の個人旅行」の割合が増加している。
- 一方、日本初来訪者(1回目)や「団体ツアー」の割合が前年同期に比べ減少している。

図表8. 訪日観光客の客層の変化【タイ】(平成23~25年1-3月期)

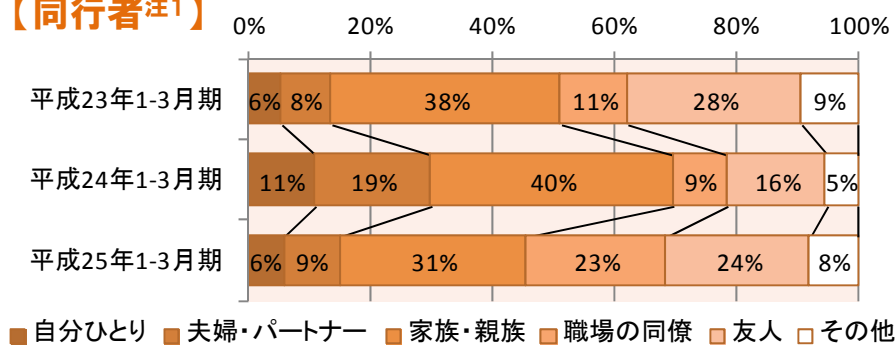
## 【性年代】



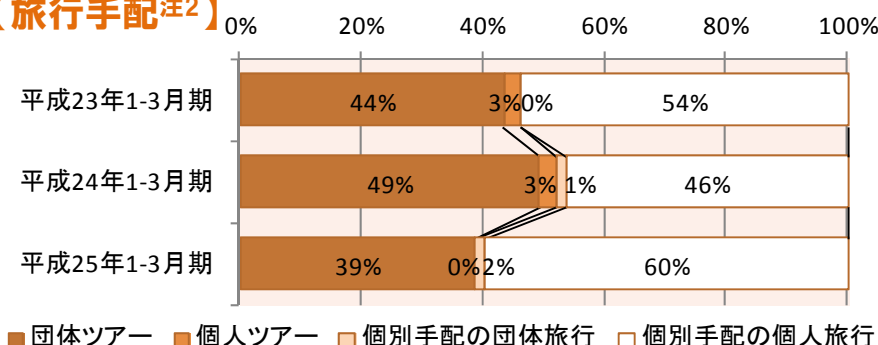
## 【訪日回数】



## 【同行者注1】



## 【旅行手配注2】



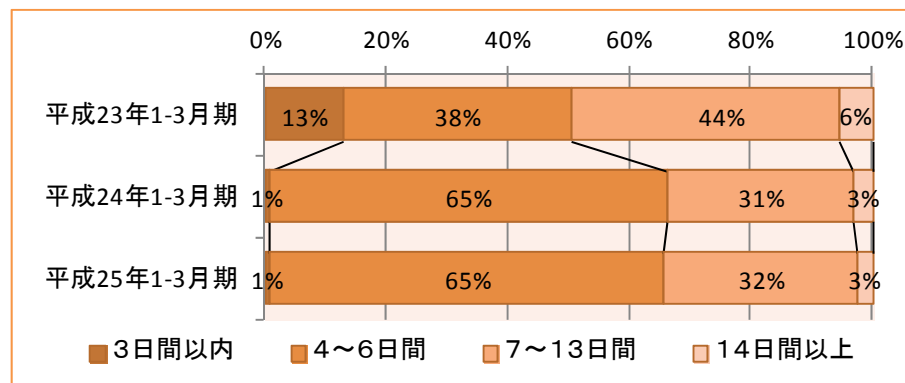
注1)「同行者」の設問は複数回答。上記図表では「同行者」を2つ以上選択した回答を「その他」として集計している。

注2)「旅行手配」の凡例の内、「団体ツアー」はパッケージツアーを利用した団体旅行、「個人ツアー」はパッケージツアーを利用した個人旅行をさす。



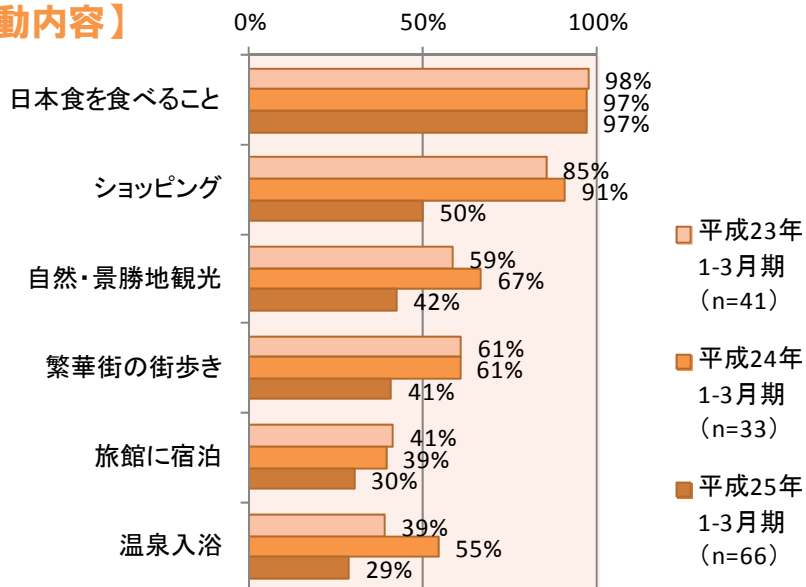
- 前年同期(平成24年1-3月期)に「4～6日間」滞在の割合が増加したが、今期(平成25年1-3月期)も引き続き同割合が65%を占めている。
- 旅行中の活動内容をみると、「日本食を食べること」以外の主な活動の実施率は軒並み減少している。
- 日本滞在中に役に立った情報源では、「インターネット(パソコン)」の割合が減少し、「インターネット(スマートフォン)」の割合が増加した。

図表9. 訪日観光客の滞在日数【タイ】

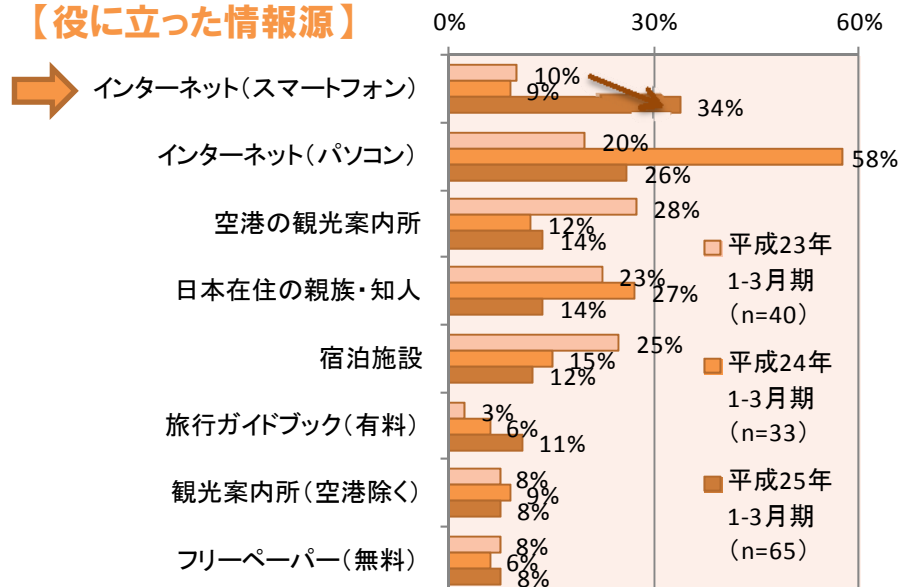


図表10. 訪日観光客の日本滞在中の活動内容と役に立った情報源【タイ】(平成23～25年1-3月期)

## 【活動内容】

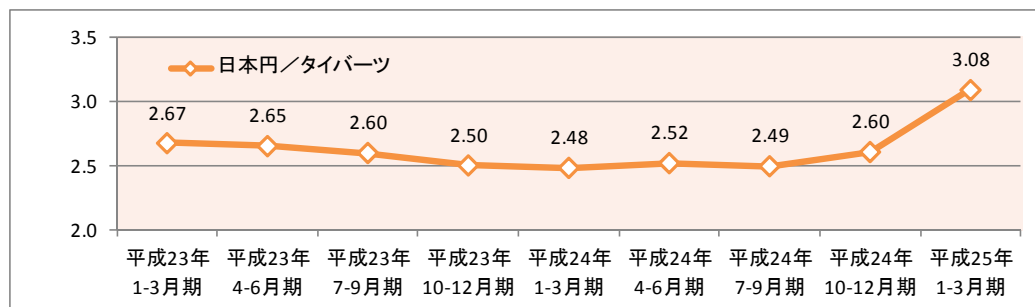


## 【役に立った情報源】

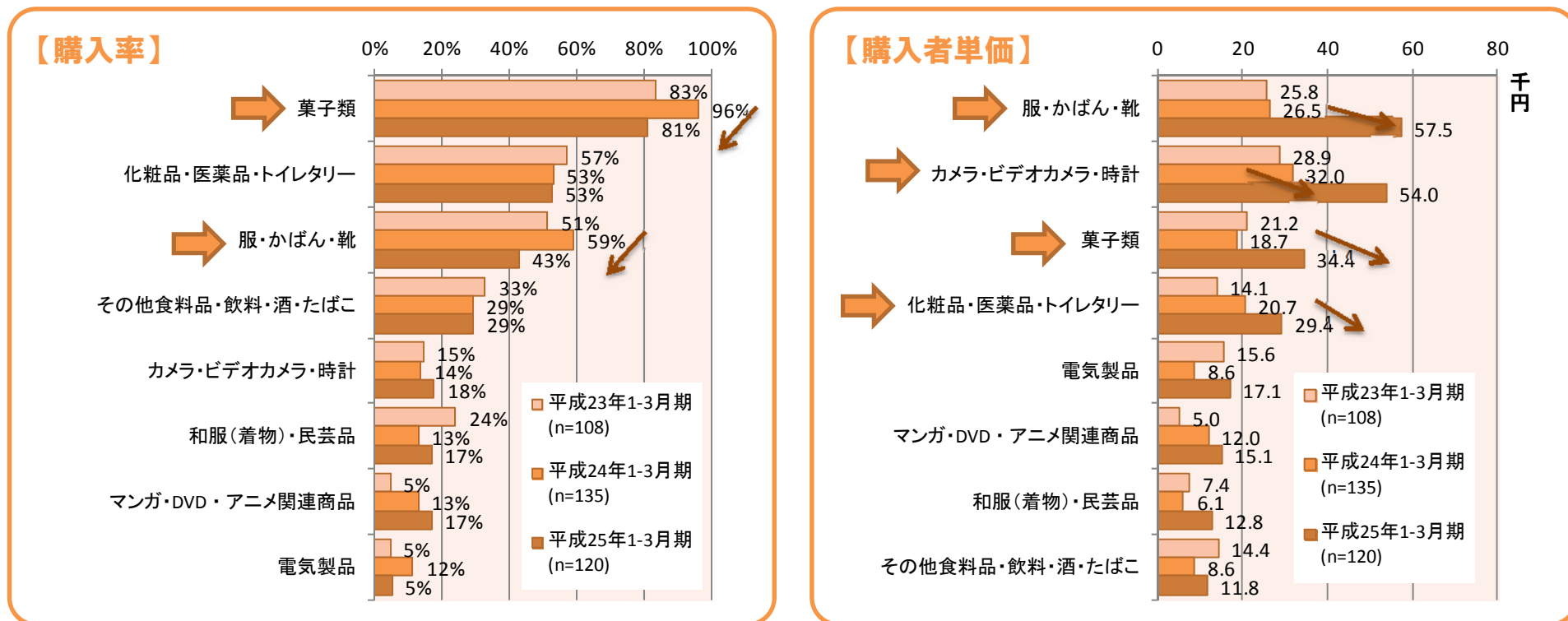


- 今期(平成25年1-2月期)は、前期(平成24年10-12月期)に比べ大幅な円安となった。
- 今期の日本滞在中の買物支出をみると、今期は「菓子類」「服・かばん・靴」などで購入率が減少したが、購入者単価は「服・かばん・靴」「カメラ・ビデオカメラ・時計」など多くの品目で上昇した。

図表11. 為替レート注の推移(日本円/タイバーツ)



図表12. 訪日観光客の日本滞在中の買物支出【タイ】(平成23~25年1-3月期)



注) 為替レートはIMF(国際通貨基金)公表の日次データによる調査期間中平均値を用いている。

---

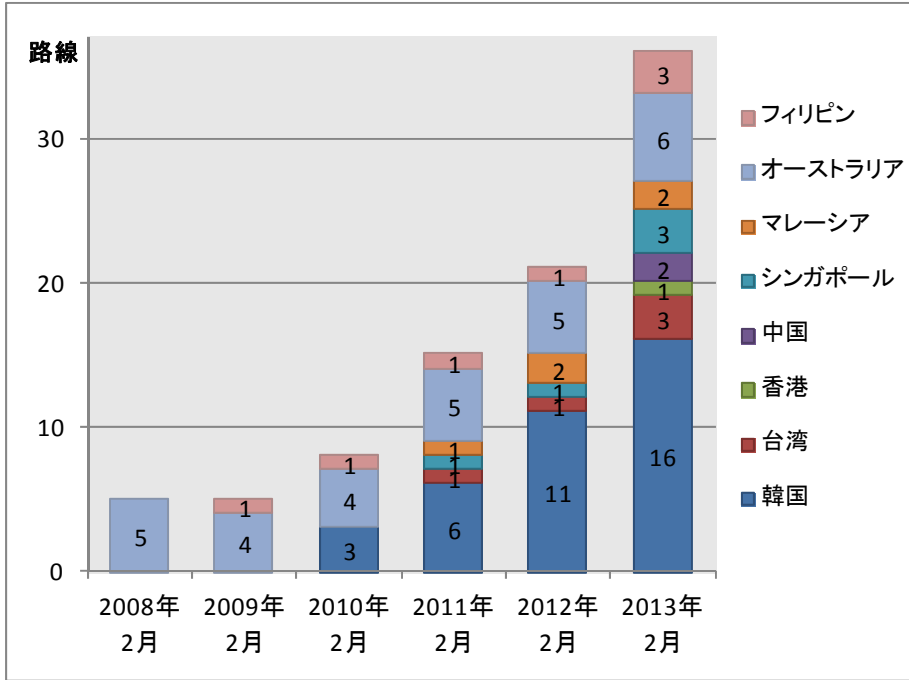
## ②LCC利用観光客の詳細分析

～女性20代が多く、訪問地は就航地周辺に集中

# 年々拡大するLCCの路線数

- 国内外を拠点とする格安航空会社(LCC<sup>注1</sup>)が相次いで日本を発着する路線に参入しており、年々路線数が拡大している。
- 韓国や台湾では既に複数のLCCが日本との間を運航している。そこで、韓国と台湾からのLCC利用客の旅行動向について、平成24年度の標本を用いた詳細分析を行う。

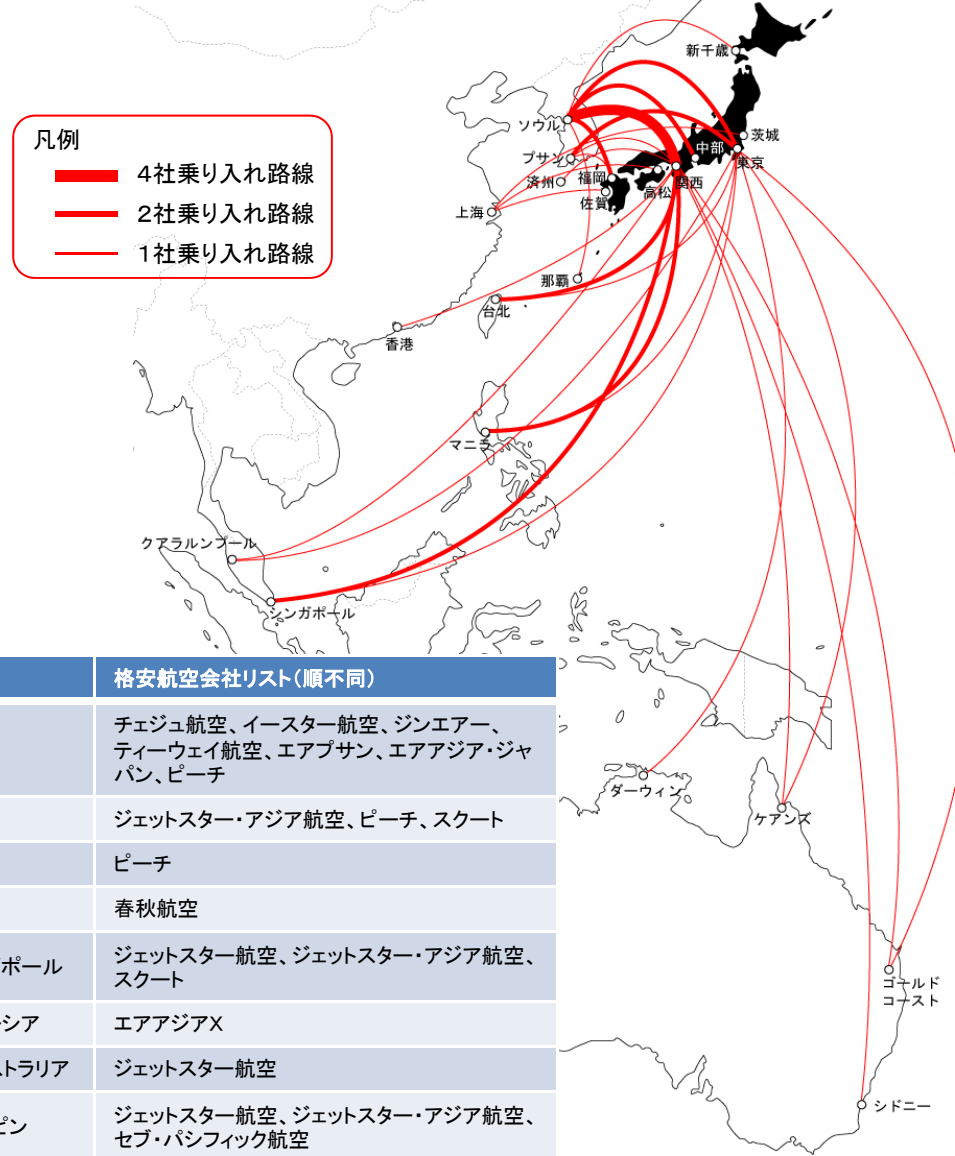
図表1. LCCによる路線数<sup>注2</sup>の推移



注1) LCCとはLow Cost Carrierの略で、「格安航空会社」と訳される。運航コストや人件費などを削減し、大手旅行会社に比べ安い航空運賃を提供している。

注2) データ出所: JTB時刻表2008~2013年の各年2月号  
定期チャーター便は含まない。なお、例えば同一路線を航空会社2社が運航している場合、路線数は「2」とカウントした。

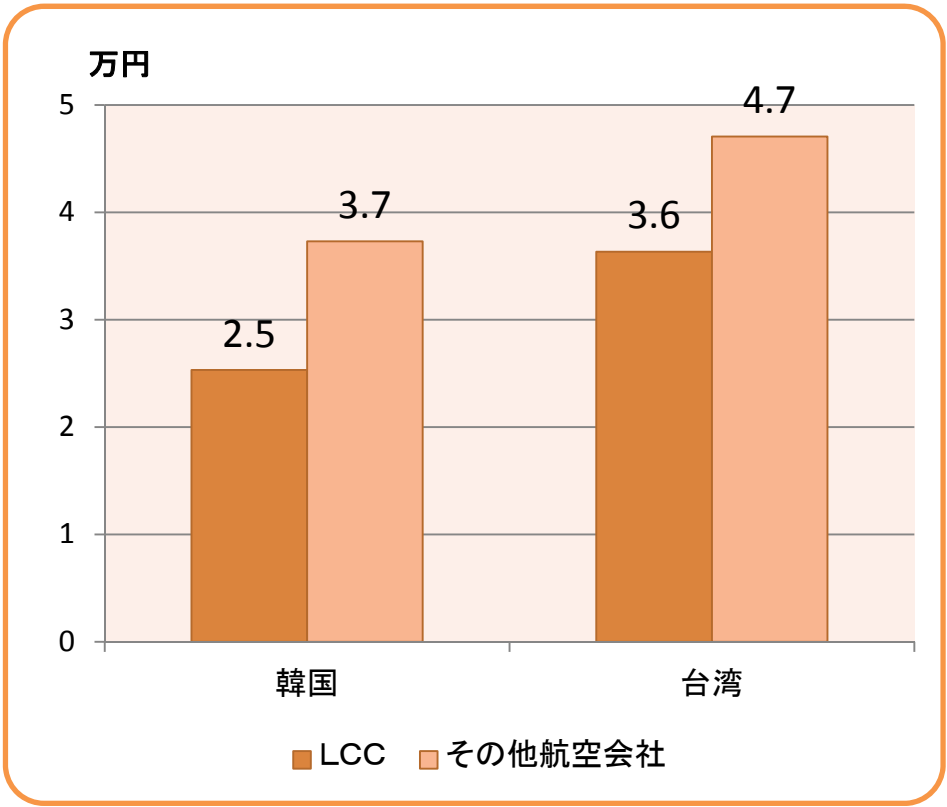
図表2. LCCが就航している航空路線(2013年2月現在)



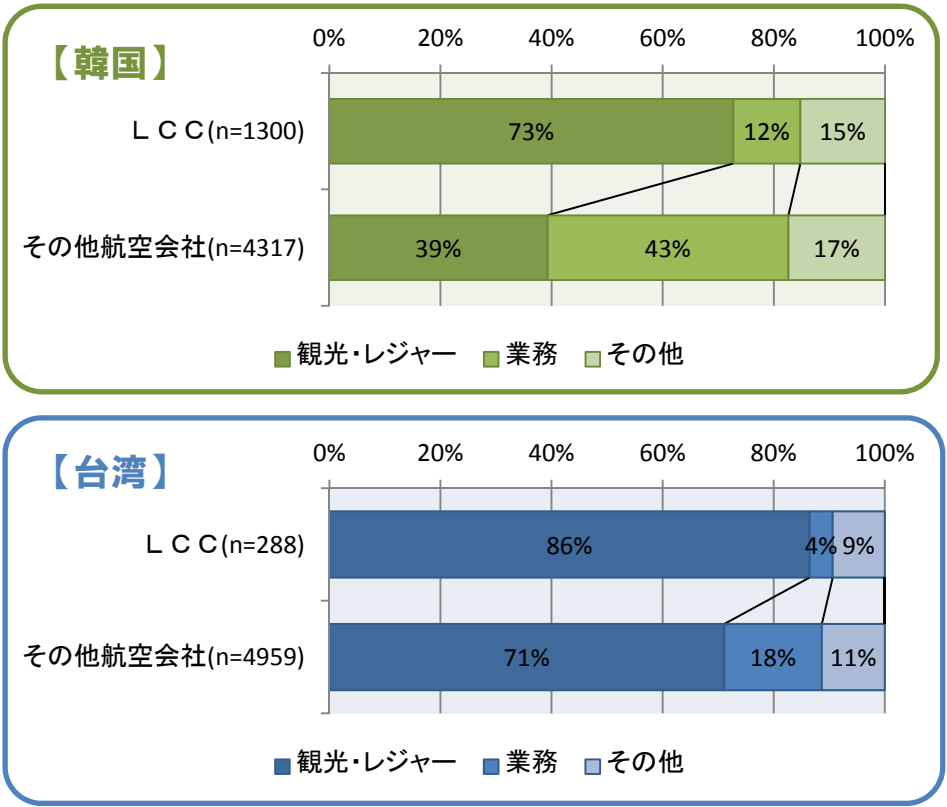
# LCC利用客は観光目的の来訪が大半を占める

- LCC利用客<sup>注1</sup>とその他航空会社<sup>注2</sup>利用客(それぞれパッケージツアー利用客を除く)の航空運賃を比較すると、韓国・台湾ともにLCC利用客の方が1万円程度低い。
- LCC利用客の来訪目的をみると、韓国・台湾ともに「観光・レジャー」目的客(以下、観光客)が7割以上を占める。そこで、次ページ以降では韓国・台湾の観光客を対象として、LCCとその他の航空会社を利用した観光客の客層や滞在中の活動内容、旅行支出などを比較する。

図表3. 航空運賃の比較 (パッケージツアー利用客を除く)



図表4. 主な来訪目的の比較

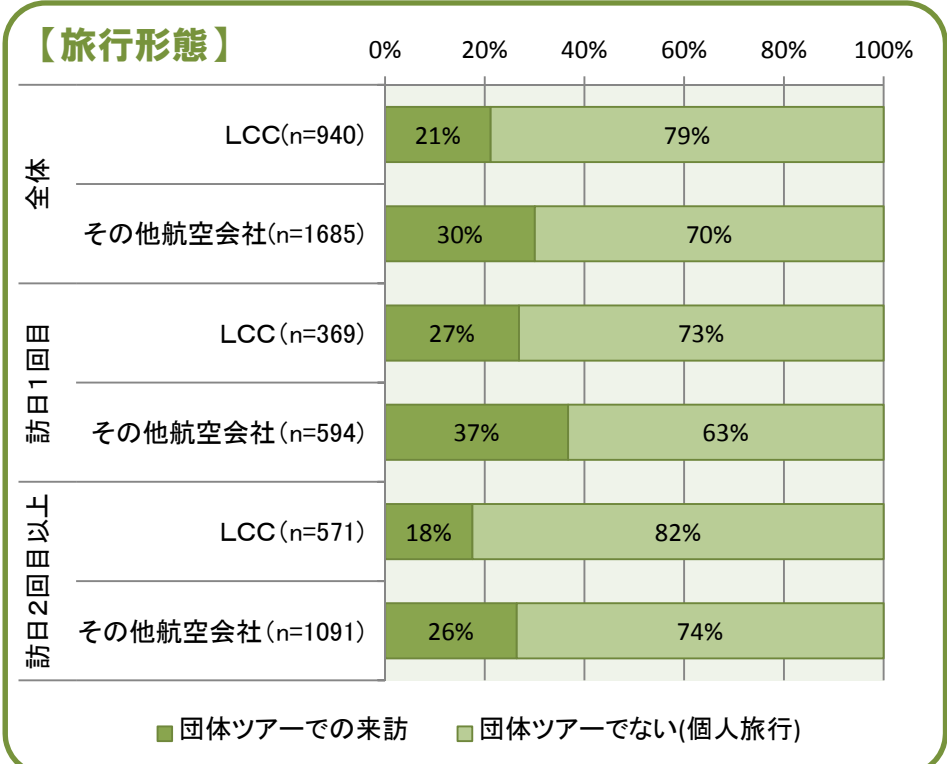
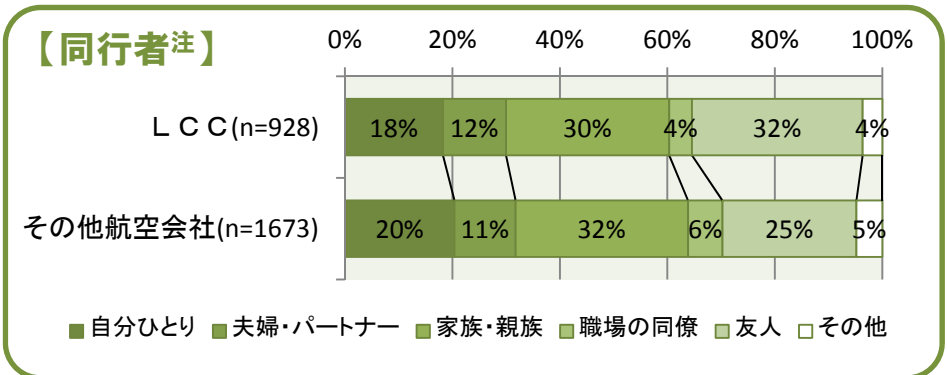
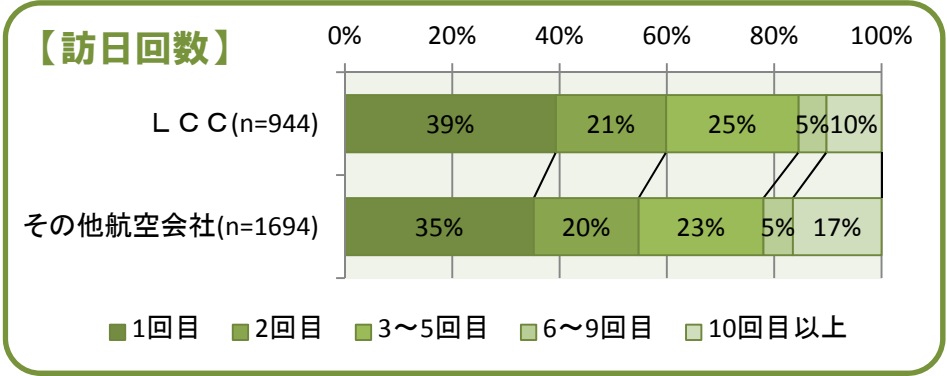
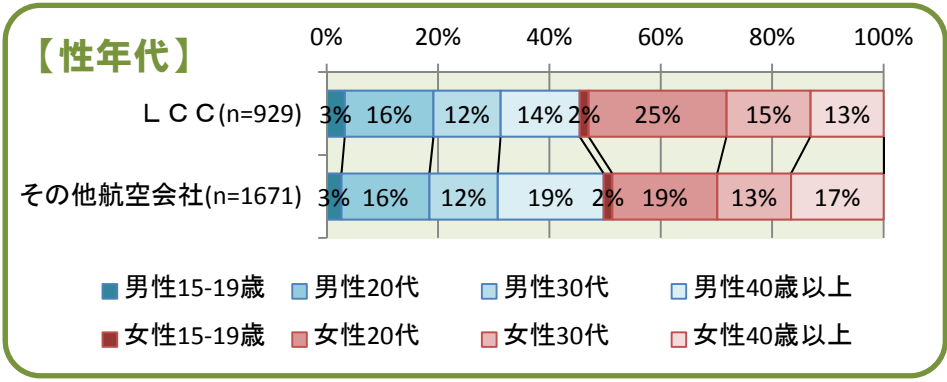


注1) LCC利用客とは、LCCを利用して出国した訪日外国人をさす。  
 注2) 博多港から船舶を利用して出国した訪日外国人は含まない。

# 【韓国】の観光客】LCC客には女性20代、初来訪者が多い

- LCC利用観光客では、「女性20代」の割合が多く、男女ともに「40歳以上」の割合が少ない。
- 訪日回数では、「1回目」の割合が多くおよそ4割をしめる。また、同行者では「友人」との来訪者が多い。
- LCC利用観光客は、その他航空会社利用の観光客に比べ団体ツアーの割合が少なく、初来訪の観光客でも個人旅行の割合が7割を超える。

図表5. LCC利用観光客の客層【韓国】

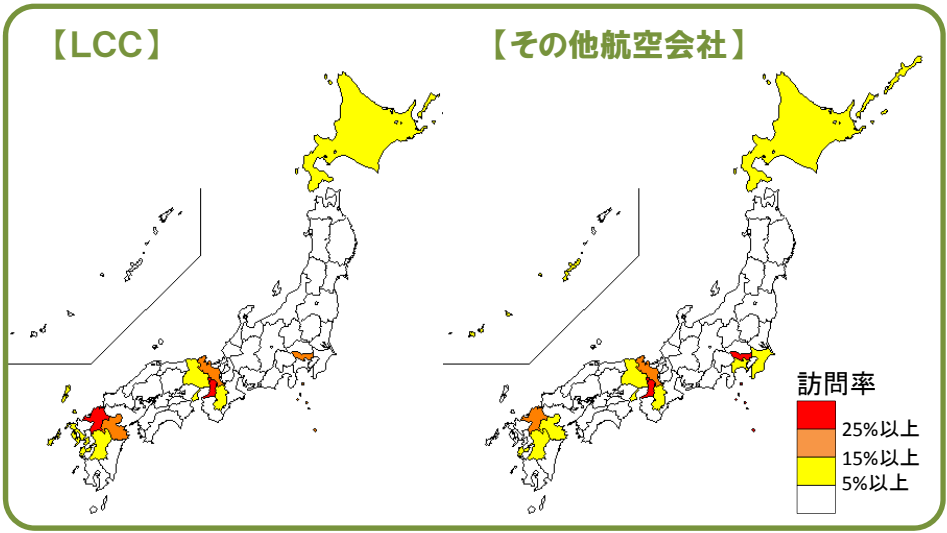


注)「同行者」の設問は複数回答。上記図表では「同行者」を2つ以上選択した回答を「その他」として集計している。

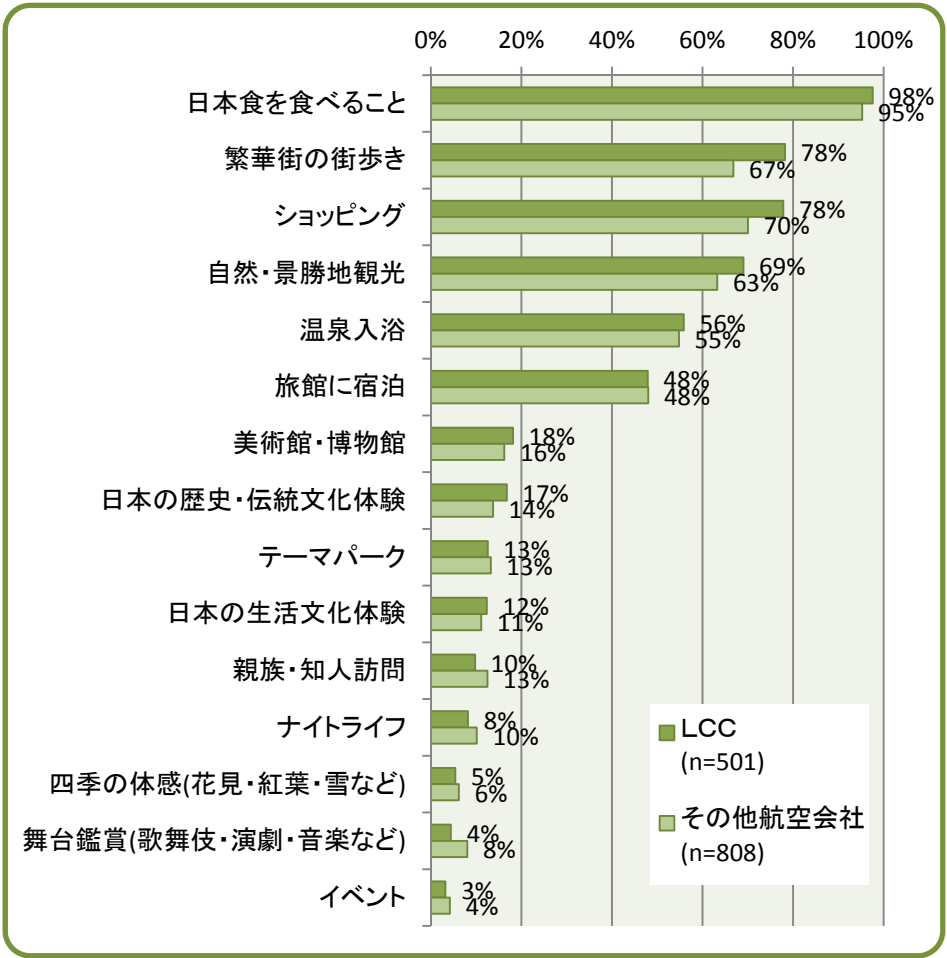
# 【韓国】の観光客】訪問地は路線数の多い関西・福岡に集中

- LCC利用観光客は、LCCが就航している「大阪府」や「福岡県」への訪問率が高い。
- 旅行満足度は「大変満足」「満足」で8割を占める。LCCとその他の航空会社との間に大きな差はみられない。
- LCC利用観光客の活動内容をみると、「繁華街の街歩き」や「ショッピング」などの実施率が高い。

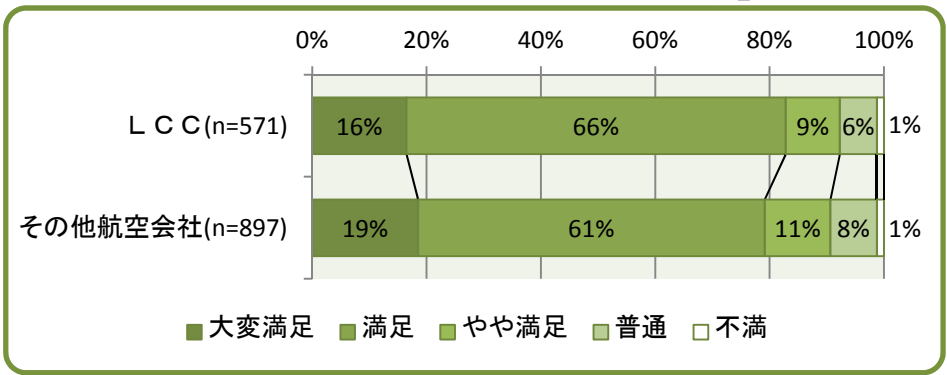
図表6. LCC利用観光客の訪問地【韓国】



図表8. LCC利用観光客の活動内容【韓国】

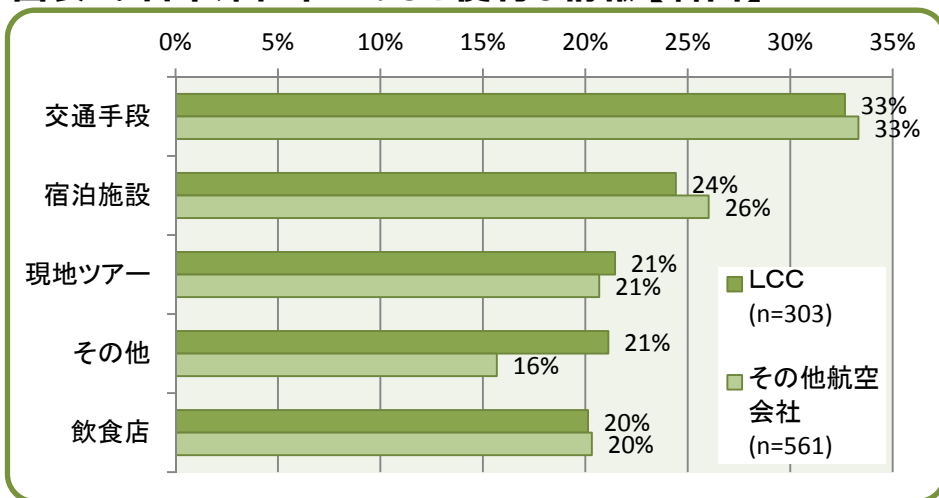


図表7. LCC利用観光客の訪日旅行の満足度【韓国】

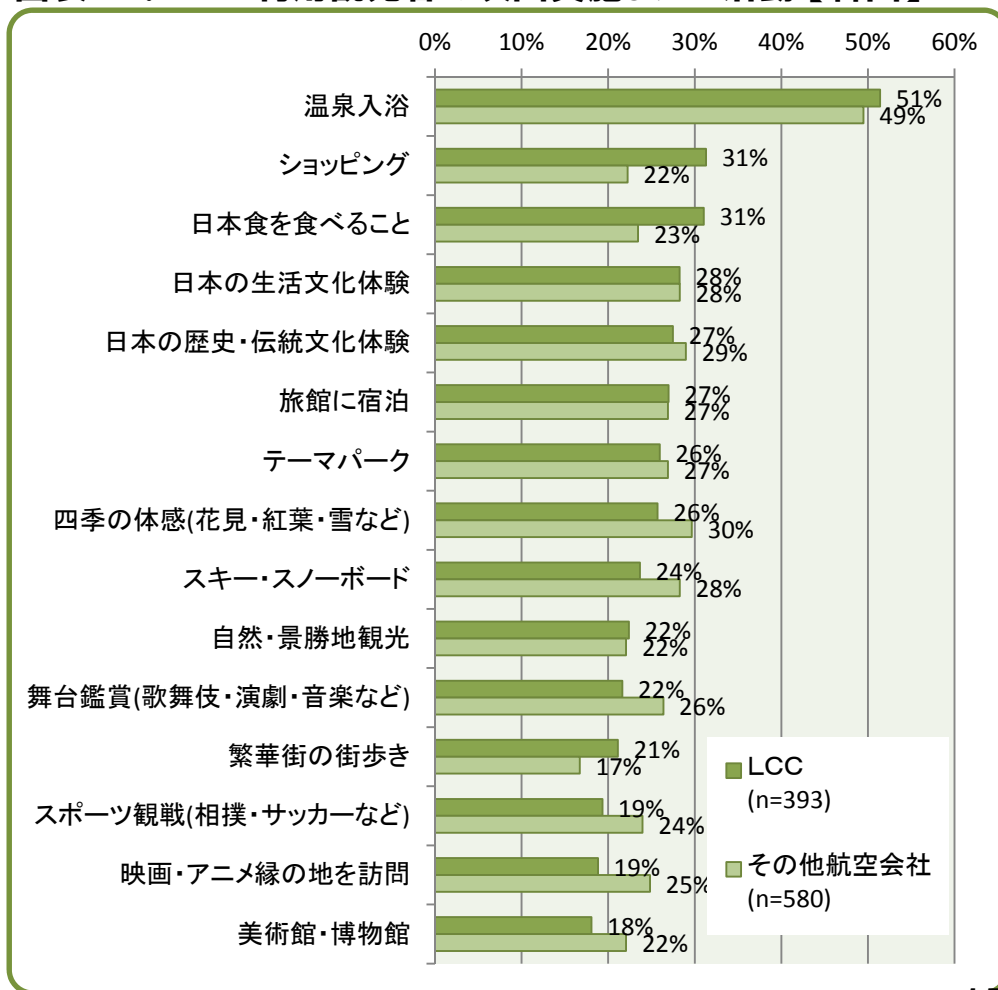


- 再訪意向は、「必ず来たい」「来たい」を合わせた比率がその他航空会社利用観光客よりも高い。
- 次回したい活動では、「日本食を食べること」「ショッピング」などで、LCC利用観光客の選択率が高い。

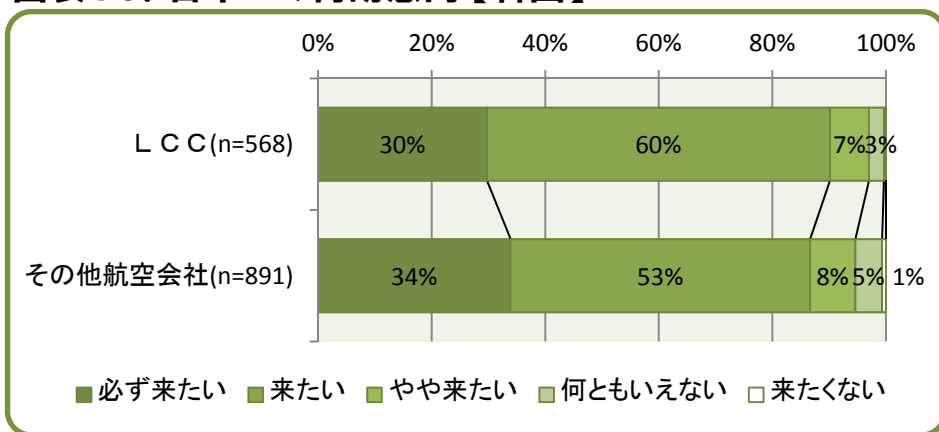
### 図表9. 日本滞在中にあると便利な情報【韓国】



### 図表11. LCC利用観光客の次回実施したい活動【韓国】



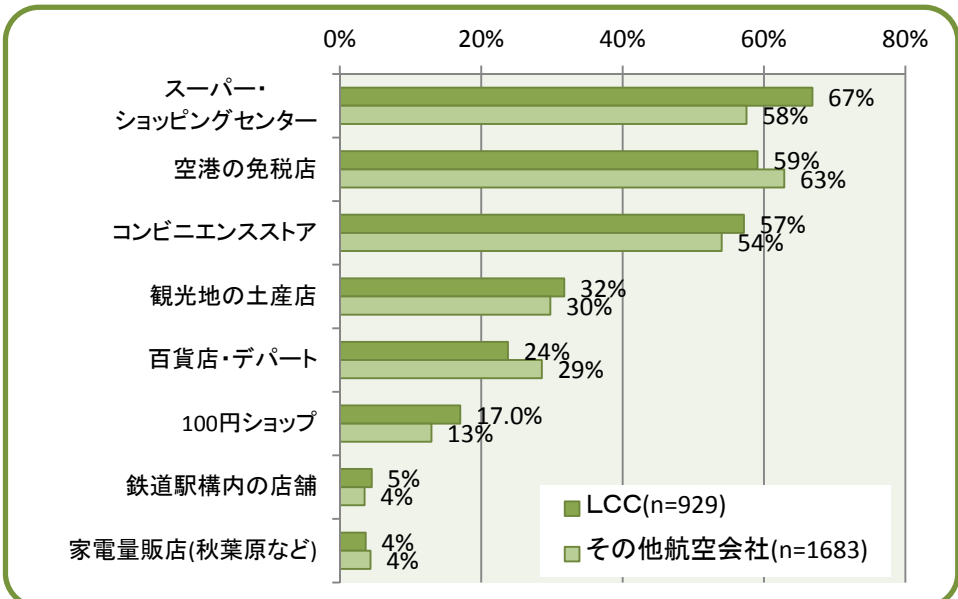
### 図表10. 日本への再訪意向【韓国】



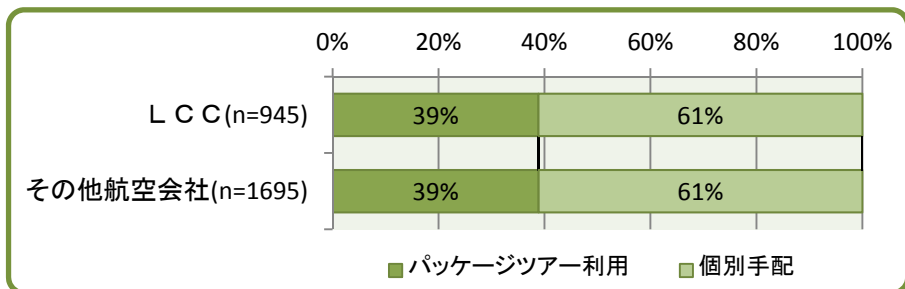


- 個別手配観光客の1人当たり旅行中支出額<sup>注</sup>はLCC利用観光客で平均5.8万円、その他航空会社利用の観光客で平均8.2万円である。
- 費目の内訳を比較すると、宿泊費や飲食代、買物代など全ての費目でLCC利用観光客の方が低い。特に買物代はその差が大きく、その他航空会社利用の観光客に比べ1.0万円低い。
- LCC利用観光客では、「スーパー・ショッピングセンター」や「100円ショップ」で買物をした人の割合が、その他航空会社利用の観光客に比べて多い。

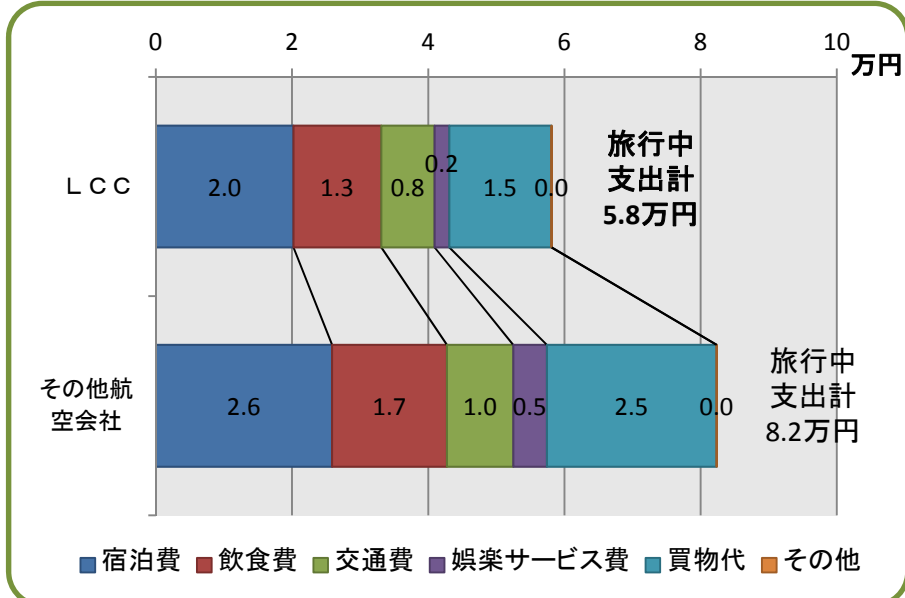
図表12. LCC利用観光客の買物場所【韓国】



図表13. LCC利用観光客のツアー利用率【韓国】



図表14. LCC個別手配観光客の旅行中支出【韓国】

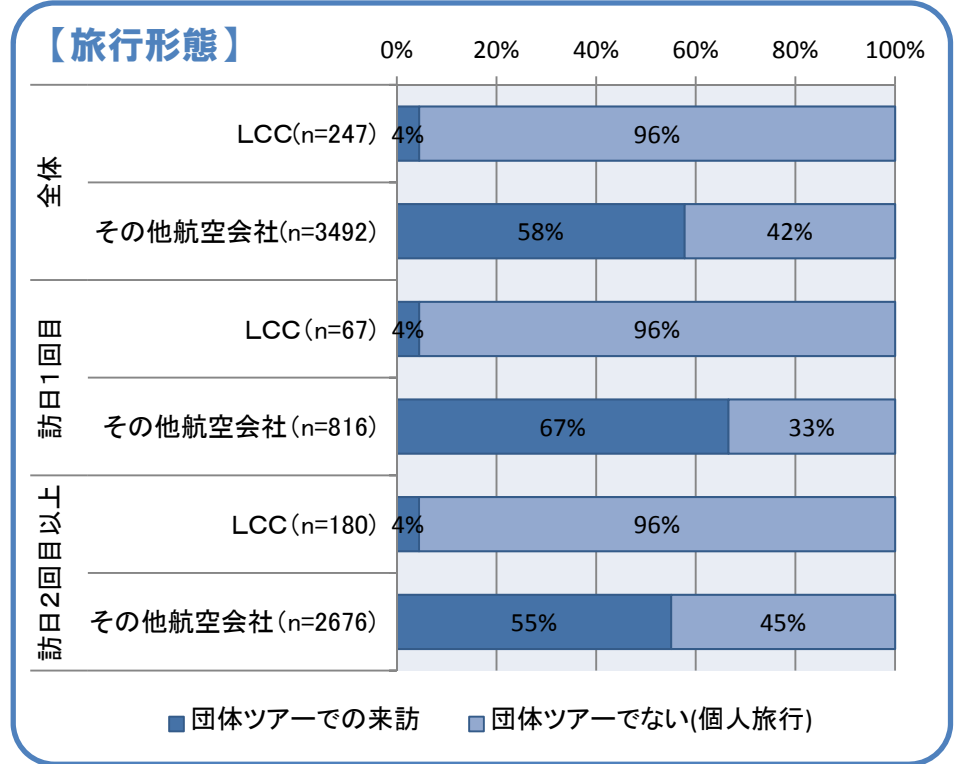
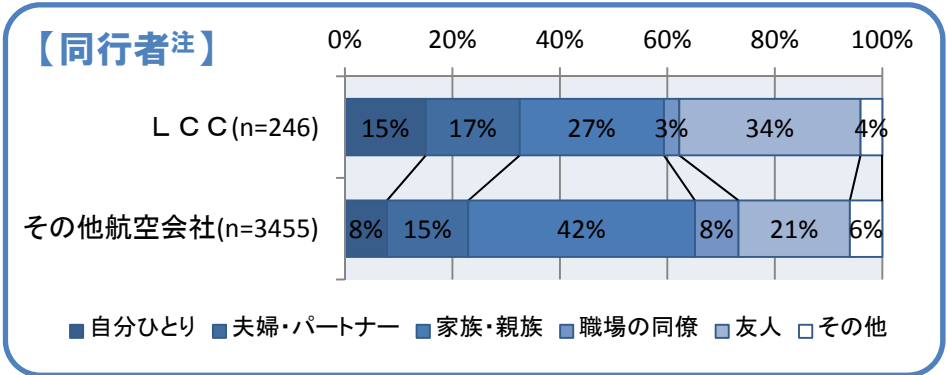
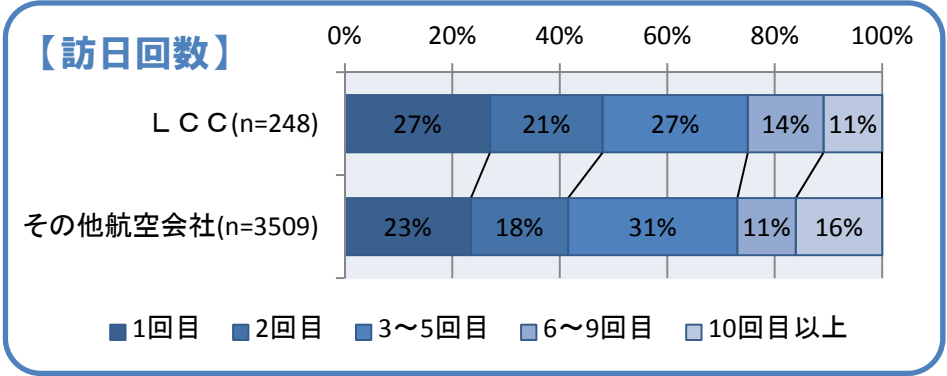
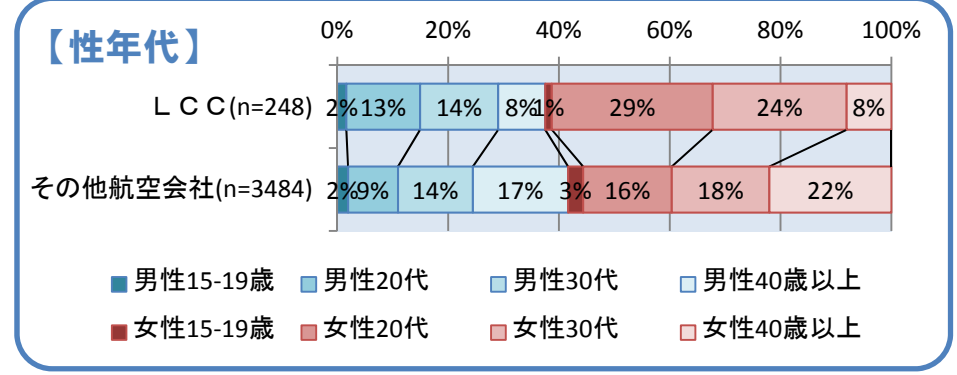


個別手配客	平均泊数	1泊あたり旅行中支出額
LCC利用観光客	4.1泊	1.4万円/泊
その他航空会社利用観光客	5.2泊	1.6万円/泊

注)「旅行中支出額」とは、日本滞在中に支出した金額である(宿泊費は旅行前に決済したものも含む)。パッケージツアー料金に内包された滞在費(宿泊費や飲食費、交通費など)は含まない。

- LCC利用観光客は、女性30代以下の割合が多く、全体の5割を超える。
- LCC利用観光客は「自分ひとり」や「友人」と来訪する割合が多い。
- 韓国とは異なり、台湾のLCC利用観光客では団体ツアーの割合が1割未満と低い。初来訪の観光客でもLCC利用観光客の96%が個人旅行である。

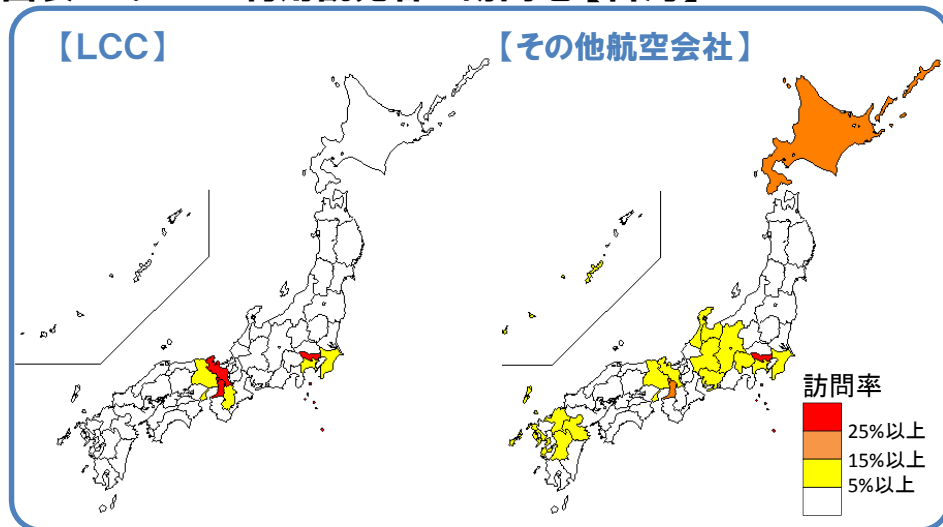
図表15. LCC利用観光客の客層【台湾】



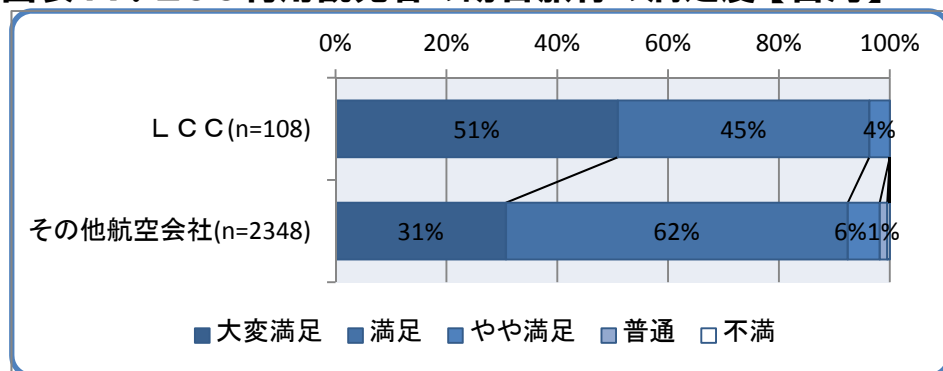
注)「同行者」の設問は複数回答。上記図表では「同行者」を2つ以上選択した回答を「その他」として集計している。

- LCC利用観光客の訪問地は、「東京都」「京都府」「大阪府」とその周辺の都道府県に集中している。
- 旅行満足度は「大変満足」が5割を超えており、その他の航空会社を利用した観光客に比べて高い。
- LCC利用観光客の活動内容は、その他航空会社利用観光客に比べ「繁華街の街歩き」「ショッピング」などの比率が多い。

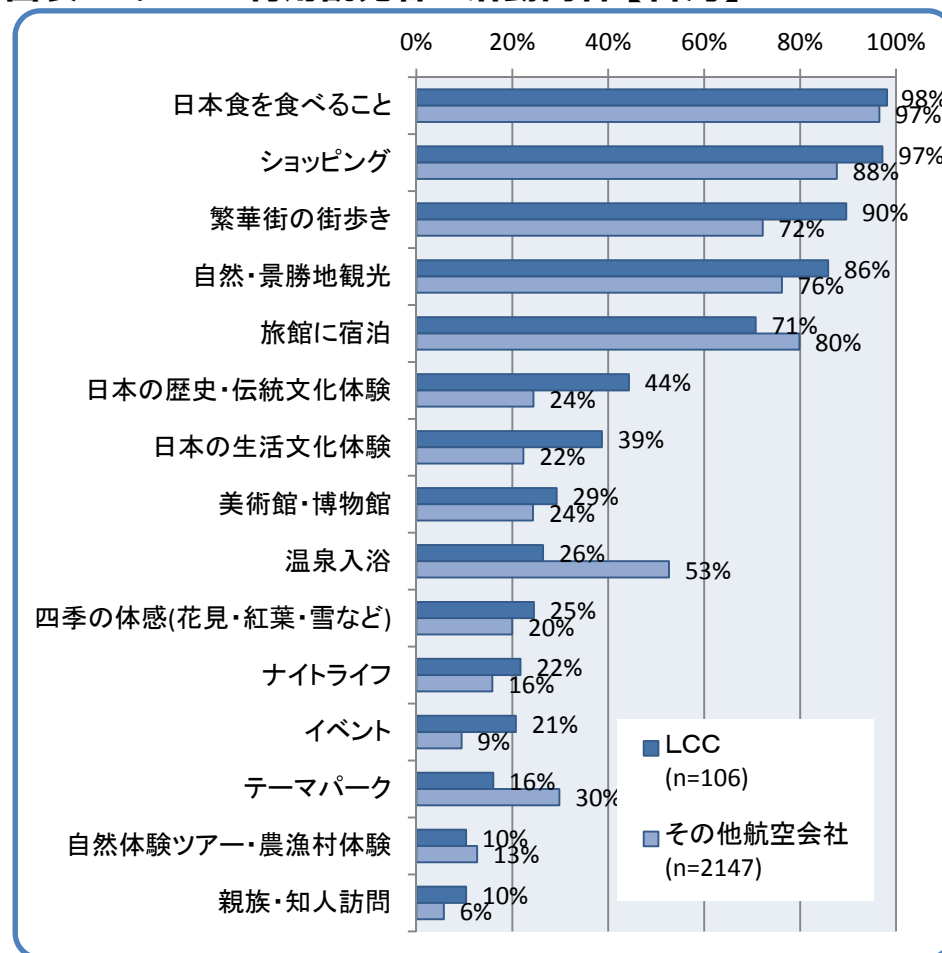
図表16. LCC利用観光客の訪問地【台湾】



図表17. LCC利用観光客の訪日旅行の満足度【台湾】



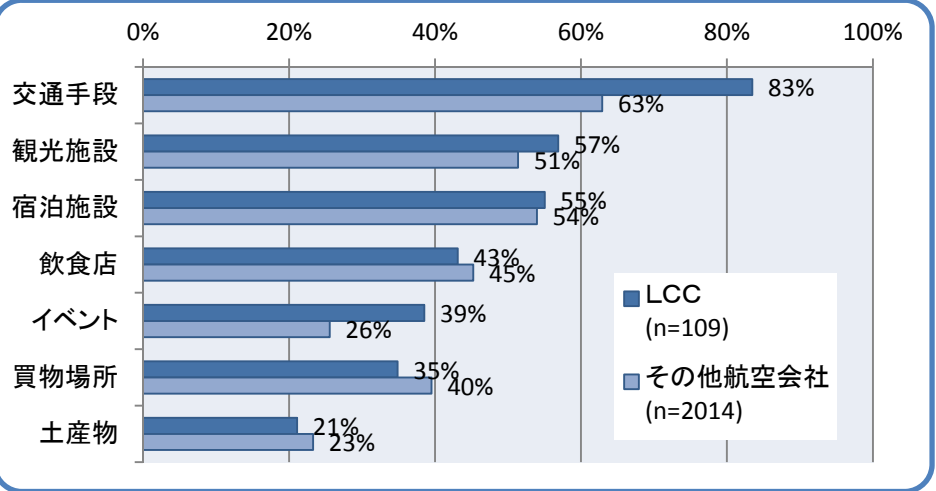
図表18. LCC利用観光客の活動内容【台湾】



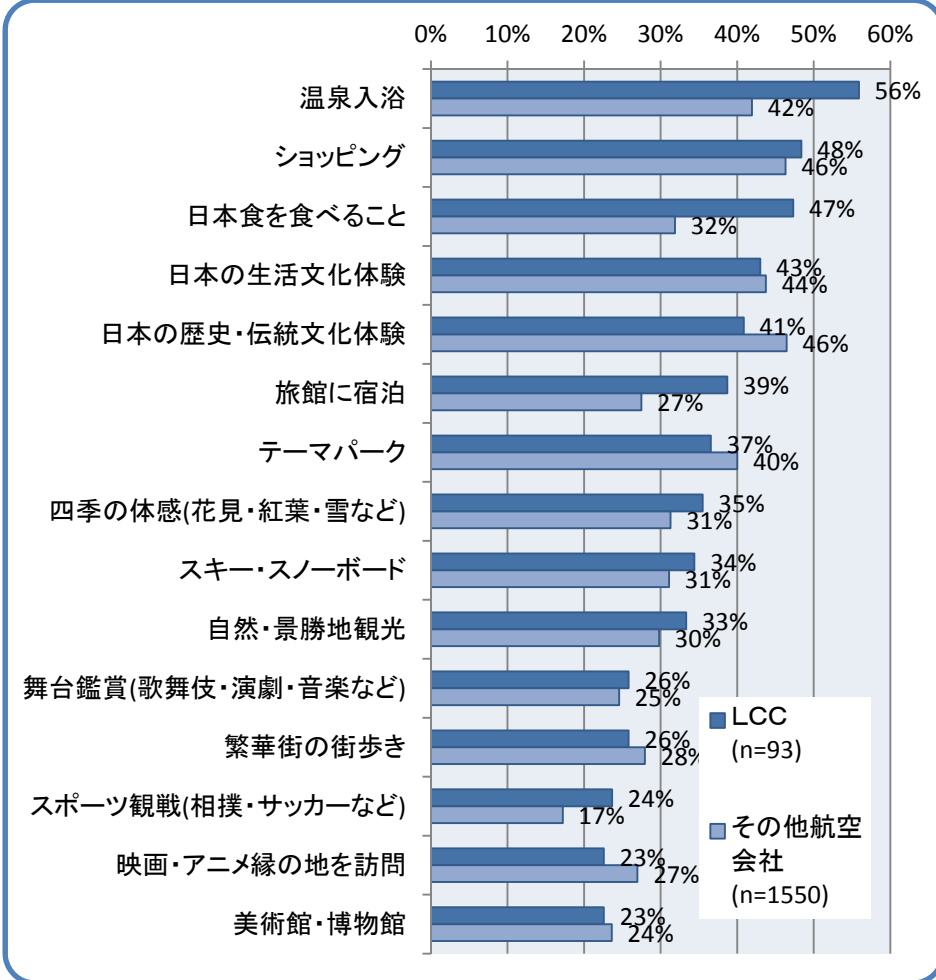
# 【台湾の観光客】LCC客の7割が強い再訪意向を示す

- 日本滞在中にあると便利な情報としては「交通手段」をあげる回答が8割強と多い。
- 日本への再訪意向は、「必ず来たい」の比率が7割を超え、その他航空会社利用観光客よりも高い。次回したい活動は「自然・景勝地観光」「繁華街の街歩き」などでLCC利用観光客の選択率がその他航空会社利用観光客に比べ高い。

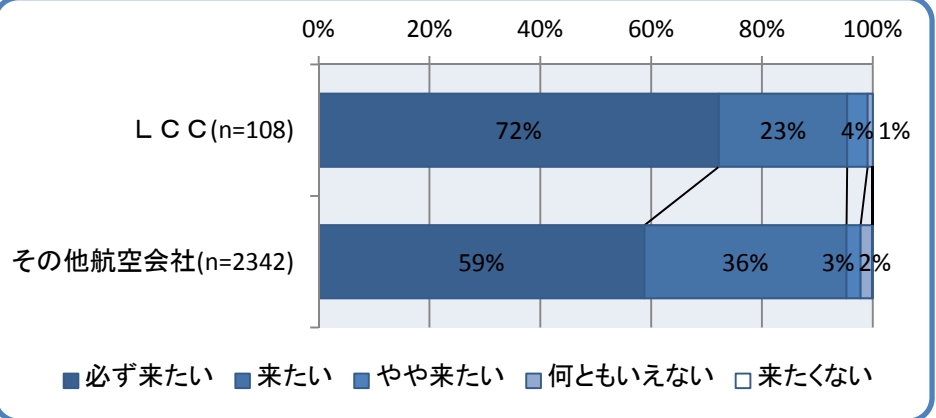
図表19. 日本滞在中にあると便利な情報【台湾】



図表21. LCC利用観光客の次回実施したい活動【台湾】



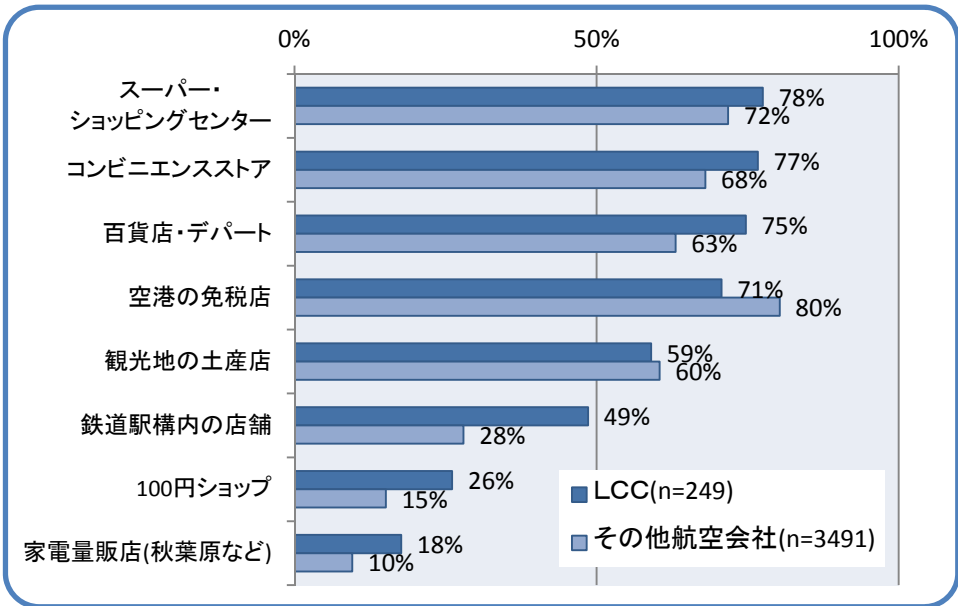
図表20. 日本への再訪意向【台湾】



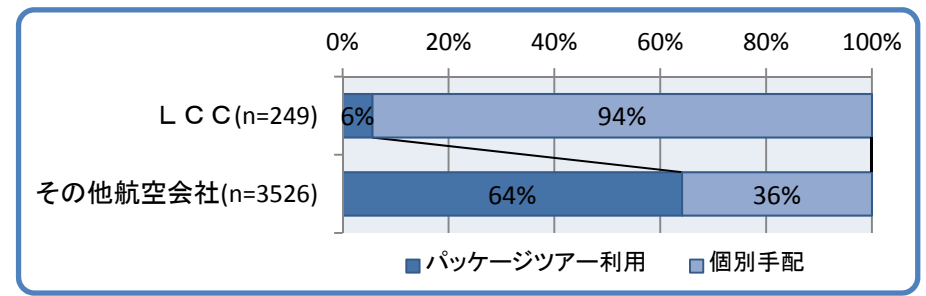
# 【台湾の観光客】LCC個別手配客の平均旅行中支出9.3万円

- 個別手配の観光客1人当たり旅行中支出額<sup>注</sup>はLCC利用客で9.3万円、その他航空会社利用客で11.6万円となった。
- 個人手配客の費目の内訳を比較すると、宿泊費や飲食代、交通費ではLCC利用客とその他航空会社利用客で大きな差はないものの、買物代では1.7万円の差がある。
- LCC利用観光客は様々な場所での買物をしており、特に「鉄道駅構内の店舗」の利用率がその他航空会社利用観光客に比べ高い。

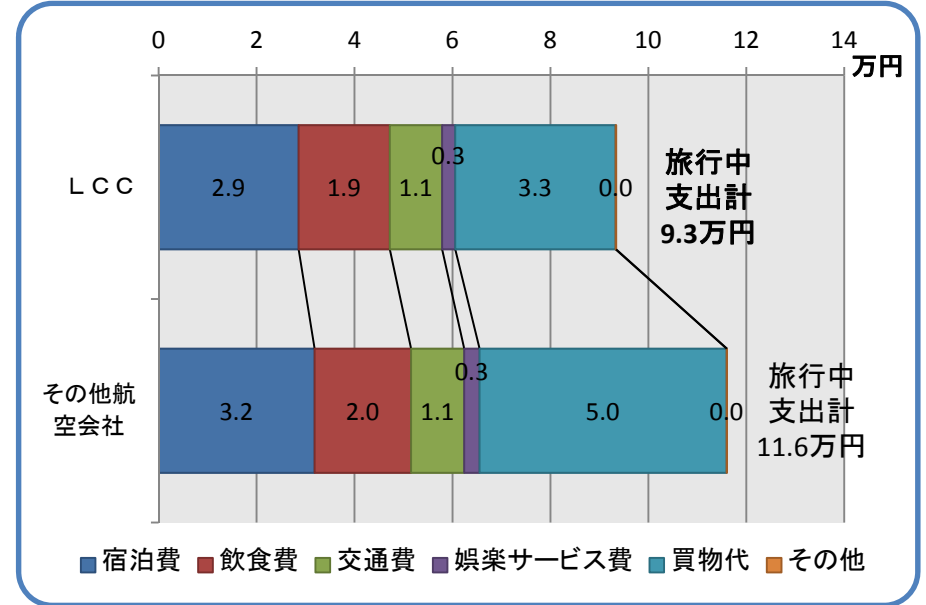
図表22. LCC利用観光客の買物場所【台湾】



図表23. LCC利用観光客のツアー利用率【台湾】



図表24. LCC個別手配観光客の旅行中支出【台湾】



個別手配客	平均泊数	1泊あたり旅行中支出額
LCC利用観光客	6.8泊	1.4万円/泊
その他航空会社利用観光客	6.5泊	1.8万円/泊

注)「旅行中支出額」とは、日本滞在中に支出した金額である(宿泊費は旅行前に決済したものも含む)。パッケージツアー料金に内包された滞在費(宿泊費や飲食費、交通費など)は含まない。